

## ≫林野火災に関する注意喚起

### ～野焼き、たき火に注意しましょう～

---

空気が乾燥し、強風の吹く時期に、稲わらや枯草の野焼き、たき火などの人的要因による火災が多発しています。延焼拡大すると林野火災に発展するおそれもありますので、屋外で火を取り扱う際には次のことに注意しましょう。

1. 周囲に燃えやすいものがある場所ではしないこと。
2. 火を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意するとともに、消火用の水等を必ず用意すること。
3. 火を使用しているときは、その場を離れず、使用後は完全に消火すること。
4. 風が強いとき、空気が乾燥しているときは、行わないこと。
5. たばこは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
6. 火遊びはしないこと、また、させないこと。

**※野焼きは一部の例外を除き、原則禁止されています。**

# 西はりま消防組合からのお知らせ

あぜ草焼きや野焼きが原因の火災や通報が、西はりま消防組合管内で非常に多く発生しています。

## 野焼きによる 火災・119通報多発!!

これぐらい、ちょっとだけ、私だけは・・・  
には、「大丈夫」はありません!

### 野焼きは原則 禁止されています!



※各市町の環境部局からも、野焼きの禁止と注意が呼びかけられています。

各市町の呼びかけ内容を各市町のホームページなどで確認してください。

#### 《管内で発生した野焼きによる火災事例》

- ・畑の雑草を焼却したところ、周囲の枯草に燃え広がった。
- ・田んぼのあぜ草を焼却中、周囲の枯草、さらに山林に燃え広がった。
- ・墓地で焼却していた火が、風にあおられ周囲に燃え広がった。
- ・ごみを焼却していたところ、焼却火が服に燃え移り重傷を負った。

point : 万が一、衣服に火が燃え移ってしまったら・・・

①ストップ! すぐにその場に止まります。

パニックになり走り回ると、かえって火の勢いが大きくなります。

落ち着いて動きを止めましょう。その際は顔への火傷を防ぐため顔を手で覆いましょう。

②ドロップ! 地面に倒れこみ、火を地面に押し付けます。

体と地面の間のできるだけ隙間ができないようにしてください。

③ロール! 地面を転がって、着衣の火を消します。

ゴロゴロ転がることで、服についた火が地面と当たり、広い範囲を窒息消火します。

火が消えるまでは、地面に転がり続けましょう。